

< 付属資料 2 >

アンケート調査票

【厚生労働省 職業安定局若年者雇用対策室 委託調査】

< アンケート調査 >

若年者の雇用機会の確保等についての企業等
からの好事例の収集に係わる調査研究事業

経営者の方または、人事担当者様にご回答をお願いいたします

差し支えなければ、調査票の回収・集計作業用に貴社の会社名、回答された方のお名前、ご連絡先などをご記入下さいますよう、お願いいたします。

貴社名	
回答者	(お名前) (所属・役職)
連絡先	(TEL)

この調査結果は、すべて統計的に処理されますので、貴社のお名前やご回答の内容に関わることが外に出ることは一切ございません。また、調査目的以外に使用することは絶対にありません。皆様の、率直なご意見をお聞かせ下さいますようお願い申し上げます。

投函期限：6月3日(火)

送付先：(株)産業社会研究センター(調査実施機関)

〒105-0001 東京都港区赤坂3-21-12 陶香堂ビル7F

(同封の返信用封筒をお使い下さい)

本調査に関するお問い合わせ先：(株)産業社会研究センター

担当：菅野、石原

. 03 - 5561 - 5071 (代)

<ご記入にあたっての注意>

1. 調査時点について

- ・特にことわりのない限り、調査の時点は2008年（平成20年）5月現在でお答え下さい。

2. 記入方法について

<パターン2>

- ・通常の設定の場合、あてはまるものの番号に をつけてください
- 1. 今よりも正社員比率を高めたい
- 2. 今よりも、パートやアルバイトなどの非正規社員の比率を高めたい
- 3. 正社員や非正規社員の比率は現状のままでよい
- 4. その他（具体的に）

<パターン2>

- ・選択肢「その他」に をつけた場合は、文章を記入してください
- 4. その他（具体的に）

職種によって、正社員比率を高めたり、減らしたりしたい

3. 本調査における用語の定義について

フリーター：15歳から34歳の若年者（学生および主婦を除く）のうち、勤め先における呼称がアルバイトまたはパートであるもの（これまでアルバイト・パートを続けてきた者で採用時に無業の者を含む）を指します。

既卒者：学校卒業後すぐに就職する者以外で、35歳未満の者のことを指します（勤務経験の有無は問わない）。

若者：35歳未満の者のことを指します。

非正規社員：正社員以外の社員（パート、アルバイト、契約社員など）を指します。ただし、学生アルバイト、派遣社員、請負会社の社員を除きます。

4. その他

- ・本アンケートは、民間データベース会社所有のデータベースから無作為に抽出した企業に郵送配付でお送り致しております。
- ・ご回答は、企業の経営者の方、もしくは人事担当者の方をお願い致します。
- ・ご記入は黒または青のボールペン、万年筆、濃いめの鉛筆をご使用ください。

最初に、フリーターや既卒者の募集・採用状況についておうかがいします

問1 貴社では、過去1年間に、フリーターや既卒者を正社員として募集しましたか。あてはまるものに1つだけをつけてください(3と回答した場合は、問4に進んでください)。

1. フリーターや既卒者を主要なターゲットにして正社員の募集をした
2. フリーターや既卒者等にこだわらず、正社員の募集をした
3. フリーターや既卒者の正社員募集は行わなかった → 問4にお進みください
4. その他(具体的に)

問2 貴社では、過去1年間にフリーターや既卒者を正社員として採用した実績がありますか。実績がある場合は、採用者数をご記入ください(2と回答した場合は、問4に進んでください)。

1. 採用した実績がある →

 人

2. 採用した実績はない →

問4へお進みください

問3 フリーターや既卒者の募集・採用についてどのようなメリットを感じて(あるいは期待して)いますか。あてはまるものにいくつでもをつけてください。

1. 新卒者と変わらないレベルの人材を確保できる
2. 即戦力になる人材を確保しやすい
3. 自社が求める質の人材を確保しやすい
4. 必要な量の人材を確保しやすい
5. 既に職業経験があるため、教育研修にあまりコストをかけずに済む
6. 発想や考え方が既存社員とは違う、ユニークな人材が採用できる
7. 特にメリットは感じていない(期待していない)
8. その他(具体的に)

問4 フリーターや既卒者の募集・採用にあたって、感じる問題点がありますか。あてはまるものいくつかを つけてください。

1. フリーターや既卒者を効率よく募集・採用する方法がわからない
2. 自社の業種や募集する職種が、若者に人気がない
3. 自社の業種や募集する職種が、フリーターや既卒者には適していない
4. 自社の知名度が低いので、若者が集まらない
5. アルバイト経験の評価の仕方などの面接・採用ノウハウが十分ではない
6. フリーターや既卒者を採用した場合の社内の賃金体系等の処遇制度が十分ではない
7. 都度採用になるので、結果的に募集・採用コストがかかる
8. 都度採用になるので、研修コストがかかる
9. 自社の求める質の人材が集まりにくい
10. 人材を量的に確保するのが難しい
11. 特に問題は感じていない
12. その他（具体的に）

問5 貴社では、フリーターや既卒者を正社員として募集・採用する上での問題点に対し、どのような対策を行っていますか。あてはまるものいくつかを つけてください。

1. 自社や募集職種についてのより詳細な情報の提示、アピールポイントの工夫
2. 自社のホームページによる求人情報の公開など、IT手段の活用
3. 企業イメージの刷新
4. 若者採用に合った、新たな求人ルートの開拓
5. 会社説明会の開催や、実施方法の工夫
6. 合同会社説明会へ参加
7. 募集回数や募集のタイミング、採用プロセスの適正化による採用コストの低減
8. 求人条件の魅力を高めるための、賃金や労働条件の見直し
9. 職業体験の機会の提供
10. 面接の際のアルバイト経験の評価方法などのフリーターや既卒者に対応できる面接手法の工夫
11. 既卒者でも対応可能な賃金体系などの整備
12. 既卒者でも対応可能な研修制度の整備
13. 特に工夫や見直しをしていることはない
14. その他（具体的に）

次に、非正規社員の正社員登用の状況についておうかがいします

問6 貴社では、非正規社員から正社員へ登用する制度がありますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。

1. 非正規社員から正社員へ登用する制度がある
2. 非正規社員から正社員へ登用する制度はない

問7 問6でお答えいただいた制度の有無に関わらず、貴社では過去1年間に、34歳以下の非正規社員を正社員へ登用した実績がありますか。あてはまるものに1つだけをつけてください。登用した実績がある場合は、登用者数もご記入ください(2と回答された場合は、問9へ進んでください)。

1. 登用した実績がある → 人
2. 登用した実績はない → 問9へお進みください

問8 非正規社員から正社員への登用には、どのようなメリットがありますか。あてはまるものにいくつでもをつけてください。

1. 企業ロイヤリティーの高い人材を正社員として確保しやすい
2. 仕事に対する熟練度が高い人材を正社員として確保しやすい
3. 会社や職場のことをよくわかっている人材を正社員として採用することができる
4. 能力や仕事ぶりをよくわかった上で、正社員として採用することができる
5. 採用コストを抑えることができる
6. 教育コストを抑えることができる
7. 定着率や仕事意欲を高めることができる
8. 人材確保難に対応できる
9. 特に感じるメリットはない
10. その他(具体的に)

問9 非正規社員から正社員への登用にあたり、感じる問題点は何ですか。あてはまるものいくつかでも をつけてください。

1. 非正規社員が正社員になりたがらない
2. 正社員への選考した結果に対して、不公平感や不満が起きやすい
3. 正社員への選考にコストや手間がかかる
4. 正社員登用後の賃金・処遇の位置づけが難しい
5. 正社員登用後の役割分担や配置のしかたが難しい
6. 正社員登用後の雇用形態変更に伴い、周囲との人間関係に問題が生じやすい
7. 正社員登用後の雇用形態変更に伴った、適切なマネジメントが難しい
8. 正社員登用後も、本人の意識は非正規社員の頃から変わらない
9. 特に問題は感じていない
10. その他（具体的に）

--

問10 非正規社員の正社員登用を行う際に感じる問題に対し、貴社ではどのような対応策をとっていますか。あてはまるものいくつかでも をつけてください。

1. 正社員として働くことの魅力や、やりがいなどを伝えるようにしている
2. 正社員として働く事に対する動機付けや、後押しをしている
3. 短時間正社員や勤務地限定社員など、働き方のニーズに対応できるような、柔軟な勤務体系を整備している
4. 正社員登用の選考時期や選考基準を明確に設定しそれを社内にオープンにしている
5. 本人や周囲に納得度が高い、適切な選考プロセスをとっている
6. 選考にかかる手間やコストを低減するために、選考時期を定例化している
7. 登用後の賃金や処遇の基準を明確にしている
8. 非正規社員から正社員登用された人に対する適切なマネジメントができるよう、管理者に対して教育をしている
9. 非正規社員から正社員登用された人に対して、正社員としての意識付けのための教育を行っている
10. 特に取り組みは行っていない
11. その他（具体的に）

--

新卒者なども含む若者全般の受け入れや定着の状況についておうかがいします

問 11 若者を正社員として受け入れる際に感じる問題点は何ですか。あてはまるものにくつでも をつけてください。

1. 即戦力にならない
2. マナーやコミュニケーションなど社会人としての基本ができていない
3. 自社の社風や職場への適合が難しい
4. 仕事への取り組み意欲や目標達成意欲が低い
5. すぐに辞めてしまうなど、職場定着が難しい
6. 特に問題は感じていない
7. その他（具体的に）

問 12 若者を正社員として受け入れる場合の問題（職場定着についての問題も含む）に対し、貴社ではどのような対応策をとっていますか。あてはまるものにくつでも をつけてください。

1. ミスマッチによる早期離職を防ぐため、募集・採用時において自社や募集職種についてのより詳細な情報を伝えるようにしている。
2. 長期的な視点での人材育成計画を立てている
3. 社会人としてのマナーやコミュニケーション力を養成する教育を行っている
4. トライアル雇用など、自社との相性や能力を見極める期間を設定している
5. 仕事に対する取り組み方など、意識づけのための教育を行っている
6. 業務知識習得のための、教育を行っている
7. 外部の教育・研修機関を有効に活用している
8. 不安や不満を相談できるような仕組みを用意している
9. 正社員採用した若者の状況（業務の進捗や悩みなど）を把握するための、上司との定期的な面談等、コミュニケーションの機会を用意している
10. 正社員採用した若者を適切にマネジメントする力を養成するための管理者に対する教育を行っている
11. 職場のチームワーク醸成のための、レクリエーションなどを実施している
12. 特に取り組みは行っていない
13. その他（具体的に）

問 13 昨年、正社員として採用した若者の定着率は、現在（08年5月1日現在）の
ところ何割程度ですか。次のうち、最もあてはまるものに1つだけ をつけてください。

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 . 1 0 割 | 5 . 3 割以上 ~ 5 割未満 |
| 2 . 9 割以上 ~ 1 0 割未満 | 6 . 1 割以上 ~ 3 割未満 |
| 3 . 7 割以上 ~ 9 割未満 | 7 . 1 割未満 |
| 4 . 5 割以上 ~ 7 割未満 | 8 . 全員退職した |

最後に、貴社の概要についてお伺いします

F 1 貴社の従業員数についてお伺いします。あてはまるものに、1つだけ をつけて下さい(ここでの従業員数は、正社員、契約社員、嘱託社員、パート等を対象とします。アルバイトなど短期の雇用者は含めないで下さい)。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1 . 10人未満 | 6 . 300人以上 ~ 500人未満 |
| 2 . 10人以上 ~ 30人未満 | 7 . 500人以上 ~ 1,000人未満 |
| 3 . 30人以上 ~ 50人未満 | 8 . 1,000人以上 ~ 3,000人未満 |
| 4 . 50人以上 ~ 100人未満 | 9 . 3,000人以上 |
| 5 . 100人以上 ~ 300人未満 | |

F 2 貴社の設立はいつですか。あてはまるものに1つだけ をつけてください。

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 . 昭和20年代以前 | 5 . 昭和50年代 |
| 2 . 昭和20年代 | 6 . 昭和60年 ~ 64年 |
| 3 . 昭和30年代 | 7 . 平成元年 ~ 平成10年 |
| 4 . 昭和40年代 | 8 . 平成11年以降 |

F 3 貴社の所在地(本社)はどこですか。次にあげる項目の中から、あてはまるものに1つだけ をつけてください。

- | | | | |
|-----------|-----------|----------|-----------|
| 1 . 北海道地方 | 4 . 関東地方 | 7 . 近畿地方 | 10 . 九州地方 |
| 2 . 東北地方 | 5 . 甲信越地方 | 8 . 中国地方 | 11 . 沖縄地方 |
| 3 . 北陸地方 | 6 . 中部地方 | 9 . 四国地方 | |

F 4 貴社の業種は次のうちどれにあてはまりますか。あてはまるものに1つだけ をつけてください(複数にあてはまる場合は、最も売上比率の高いものを1つだけ選んでください)。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 . 建設業 | 8 . 不動産業 |
| 2 . 製造業 | 9 . 飲食店、宿泊業 |
| 3 . 電気・ガス・熱供給・水道業 | 10 . 医療、福祉 |
| 4 . 情報通信業 | 11 . 教育、学習支援業 |
| 5 . 運輸業 | 12 . 複合サービス業 |
| 6 . 卸売・小売業 | 13 . その他のサービス業 |
| 7 . 金融・保険業 | |

F 5 貴社の従業員の平均年齢は何歳ですか。あてはまるものに1つだけ をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 . 20才未満 | 6 . 40才以上 ~ 45才未満 |
| 2 . 20才以上 ~ 25才未満 | 7 . 45才以上 ~ 50才未満 |
| 3 . 25才以上 ~ 30才未満 | 8 . 50才以上 ~ 55才未満 |
| 4 . 30才以上 ~ 35才未満 | 9 . 55才以上 ~ 60才未満 |
| 5 . 35才以上 ~ 40才未満 | 10 . 60才以上 ~ 65歳未満 |
| | 11 . 65才以上 |